

フナヤ 茅葺と瓦葺

現在では高速船が定期的に運航していますが、かつては石垣島や他の島々と竹富島とを行き来する船を待つ人々や漁業をする人たちのために、フナヤが存在しています。2018年に元の形を再現して建てられたフナヤは、ほとんどの屋根が茅葺きであった頃の伝統的な建築技術の例です。このような屋根の利点のひとつは、まれに訪れる寒い日に、船を待つ人々は、屋根から少し茅を取り、それを小屋のなかで燃やして暖をとり、立ち昇る煙によってカヤが丈夫になることでした。

一九世紀後半の法令解除によって庶民も瓦屋根の家屋を建てることが許されるまで、竹富島では茅葺き屋根が使用されていました。